



2022年9月26日
東日本旅客鉄道株式会社
高崎支社

昭和レトロといえば旧型客車！ 懐かしの青色カラーリングが復活！！

JR東日本高崎支社は、鉄道開業150年に合わせて、旧型客車（スハフ42-2234）のカラーリングを、1960年代以降に全国の路線で普通列車をはじめ幅広く活躍していた青色へ変更します。

当時を懐かしむ方をはじめ、初めてご覧になる方にも楽しんでいただける機会を設けていきたいと思っておりますので、ぜひ高崎へお越しください。

1. 運行時期

2022年10月よりSL・EL・DL（機関車）けん引による運行を予定しています。

2. 車両展示等のお知らせ

10月15日（土）・16日（日）に開催される「鉄道開業150年記念高崎てつどうわくわくフェスタ！」にて展示を行います。今後、SL等のけん引運行やイベント等で登場する予定ですのでご期待ください。

3. 車両塗装工程

2022年8月から9月にかけて、高崎支社所属旧型客車の一部車両について車両塗装変更を行いました。



4. スハフ 42-2234 の歴史

- 1954 年（昭和 29 年） 日本車輛製造株式会社にてスハフ 42-2234 誕生
- 1954 年（昭和 29 年） 新津客貨車区配属
- 1959 年（昭和 34 年） 高松客貨車区配属
- 1961 年（昭和 36 年） 仙台客貨車区配属
- 1962 年（昭和 37 年） 電気暖房化により、スハフ 42-2234 へ改番
- 1964 年（昭和 39 年） 2 等車近代化改造
- 1965 年（昭和 40 年） 盛岡客貨車区配属 東北本線、常磐線にて運用
- 1972 年（昭和 47 年） 内外装のリニューアルにて、車体色を青色（青 15 号）へ変更
- 1985 年（昭和 60 年） 秋田運転区配属
- 1994 年（平成 6 年） 高崎運転所配属に併せて車体色を茶色（ぶどう 2 号）へ変更

※画像はすべてイメージです。